

エフエム戸塚の取り組みについて

2020. 9.18

A. 日常及び災害時における各団体からの情報収集と放送について

エフエム戸塚では、日常の生活情報はもとより、防災、防犯などの情報、災害時の緊急放送の発信など危機管理メディアとしての責務を果たすべく地域密着型の番組編成、制作に取り組めます。

開局時からの課題である『災害時における情報ソースの構築』においては、開局当初の「戸塚区」との防災協定に加え、これまで「戸塚警察署」・「戸塚消防署」の両機関と『情報提供に関する覚書』を締結し、災害時はもちろんのこと、平常時においても生放送番組におけるレギュラー出演、またインフォメーションとして情報提供・注意喚起に努めています。その他、開局以来、覚書を締結した「戸塚区連合町内会自治会連絡会」「戸塚区医師会」「戸塚区体育協会」「戸塚区PTA連絡協議会」「公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会」「公益社団法人戸塚法人会」「一般社団法人横浜建設業協会戸塚区会」、そして「戸塚区老人クラブ連合会」「社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会」、これら諸団体からの情報を発信しています。

さらに、2017年3月、「栄区」との防災協定、翌年2月には、「栄警察署」「栄消防署」「栄区連合町内会」、そして「栄区PTA連絡協議会」との『情報提供に関する覚書』締結を経て、栄区各機関の情報を発信しています。

また「泉区」とも2018年8月に防災協定を締結し、2019年3月には「泉警察署」「泉消防署」とも『情報提供に関する覚書』を締結し、情報発信をしています。

2018年よりタイムテーブル（番組表）について、戸塚区連合町内会自治会連絡会のご協力をいただき、戸塚・栄区内の町内会・自治会で配布し、エフエム戸塚の認知度を大きく上げることができました。

今後も、戸塚区、栄区、そして泉区の皆様に、平常時には有益な情報を、また非常時にはネットワークを活用したピンポイントの情報を発信できるよう取り組んでまいります。

ラジオの価値が再認識される昨今、IPサイマル配信にも取り組み、PCやスマートフォンで放送が聴取できるサービスを充実し、より簡単にエフエム戸塚を可聴できるオリジナルアプリ「エフエム聴」も登録者を拡大し、ラジオ難聴エリアの聴取環境改善と新たなリスナーを獲得しました。さらにSNSも積極活用し、地域により密着した放送局を目指し、情報を発信しています。

B. エフエム戸塚自社制作生放送番組について

①「おはよう！ 咲くらじお」

月曜日～金曜日 7時～10時

内容：地域の子どもとスポーツにスポットを当てた、戸塚の元気な朝の情報プログラムです。



②「戸塚井戸端会議。」

月曜日～金曜日 12時～15時

内容：子育て世代が多く集まる戸塚の主婦の好奇心をくすぐるラジオの井戸端会議的な情報交換プログラムです。主婦にとって欠かせない生活や子育て・介護に有益な話題を提供していきます。



③「Evening station」

月曜日～金曜日 17時～19時

内容：戸塚のエンターテイメント音楽プログラム。良質な音楽やイベントなどのコンテンツ作りを通して、これからの戸塚のカルチャーを発信します。



C. PTAコーナーについて

戸塚区PTA連絡協議会とは2013年10月18日に、栄区PTA連絡協議会とは2018年2月16日に「情報提供の覚書」を締結させていただき、PTA情報提供枠としてコーナーをつくりました。また、これらからの地域の活力を創り出す子どもたちの育つ・学ぶ環境づくりをしてくださっているPTAの皆さんのお話しはとても貴重と考えています。

現在、お昼の生放送「戸塚井戸端会議。」第1.3火曜日の12時15分より、PTAコーナーを実施しています。戸塚区PTA連絡協議会・栄区PTA連絡協議会の皆様に学校やPTAの活動概要をご紹介いただくコーナーです。現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お電話にてご出演いただいています。

D. 参考資料

①タイムテーブル掲載ページ
(災害時の取り組み)



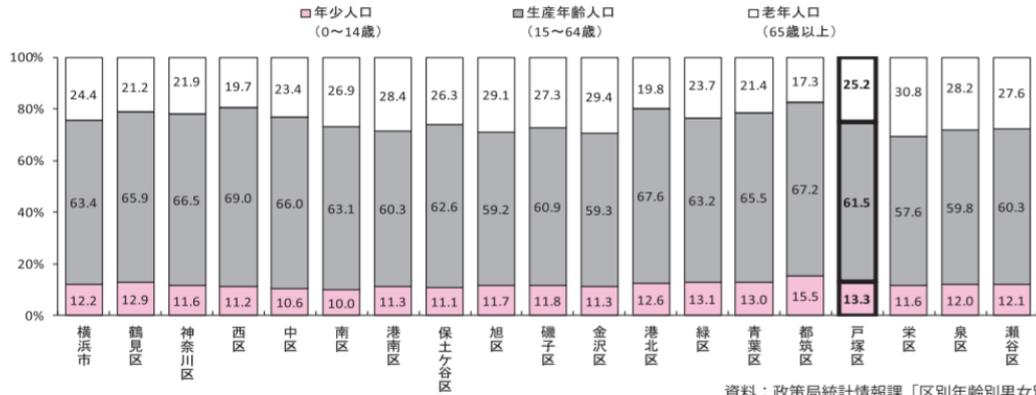
②タイムテーブル掲載ページ
(地域の情報“ラジオ編”)



③戸塚区の年少人口の割合（戸塚区 HP より）

■ 区別年齢3区分別人口割合

令和元年9月30日現在



資料：政策局統計情報課「区別年齢別男女別人口」